

日本工芸会東海支部 総会議事録

日時 五月二十八日（木）一三時半～一五時
会場 愛知芸術文化センター

アールスペースE・F室

梅本孝征常任幹事の総合司会で開会しました。開会にあたり安藤重幸支部長より開会のご挨拶を頂戴した後、愛知県民文化局文化部文化芸術課課長辻光代様より「会員の皆様方に於かれましては伝統的な工芸技法の研鑽、伝承に励まれる一方で、時代に応じた新しい表現の探求にも務められ、次の世代へと繋がる多くの工芸品を発表されています。会員の皆様には今後とも本県の文化芸術の振興に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます」とのご挨拶をいただきました。協議に先立ち、出席者二十三名と委任状提出者百五名、合わせて支部規定に記されている定足数に達しており、総会は有効に成立する事が確認され、鈴木徹幹事長より協議事項の説明が行われました。

川口清三副幹事長より令和七年度（公社）日本工芸会東海支部事業報告について説明があり、若尾誠副幹事長より令和七年度（公

社）日本工芸会東海支部一般会計収支報告書、第五十六回東海伝統工芸展特別会計収支報告書、令和七年度日本工芸会東海支部小出基金収支決算書、第七二回日本伝統工芸展名古屋展収支決算書について説明がありました。松山好成会計監事より監査報告の後、これらの協議事項について拍手多数の満場一致で承認可決されました。

議事は進み、鈴木幹事長より令和八・九年度（公社）日本工芸会東海支部幹事長・副幹事長・幹事選出、監事選任について報告があり、拍手多数で承認されました。

令和八年度（公社）日本工芸会東海支部事業計画（案）について川口副幹事長の説明の後、若尾副幹事長より令和八年度（公社）日本工芸会東海支部収支予算（案）・一般会計収支予算書・第五十七回東海伝統工芸展特別会計収支予算、小出基金収支予算書（案）について説明がありました。続いて若尾副幹事長より第七三回日本伝統工芸展特別会計収支予算書（案）について説明があり、協議事項について終了しました。

報告事項に移り、東海伝統工芸展規定の改正について、第五十七回東海伝統工芸展について川口副幹事長から説明がありました。

その後、加藤裕子事務局担当より新たに東海支部に入会された四人の方々が紹介され、東海支部定時総会は終了しました。

（遠山尚子）